

# 戦略重点科学技術等の取組状況

平成19年3月28日

経済産業省

# 社会基盤分野

## < 交通・輸送システム >

重要な研究開発課題		重要な研究開発課題の概要	経済産業省プロジェクト	戦略重点	ページ
31	航空機・エンジンの全機インテグレーション技術	小型航空機・エンジンの研究開発、および航空機・エンジンの高性能化・差別化技術の研究開発	環境適応型高性能小型航空機研究開発		3
			環境適応型小型航空機用エンジン研究開発		4
32	超音速航空機技術	超音速輸送機実用化開発調査	超音速輸送機実用化開発調査		参考
34	航空機開発先進要素技術	次世代航空機用構造部材創製・加工技術開発	次世代航空機用構造部材創製・加工技術開発		5
		航空機用先進システム基盤技術	航空機用先進システム基盤技術		参考
		防衛省機の消防飛行艇等への転用の検討	小型民間輸送機等開発調査		参考

# 我が国航空機産業の歩みと展望

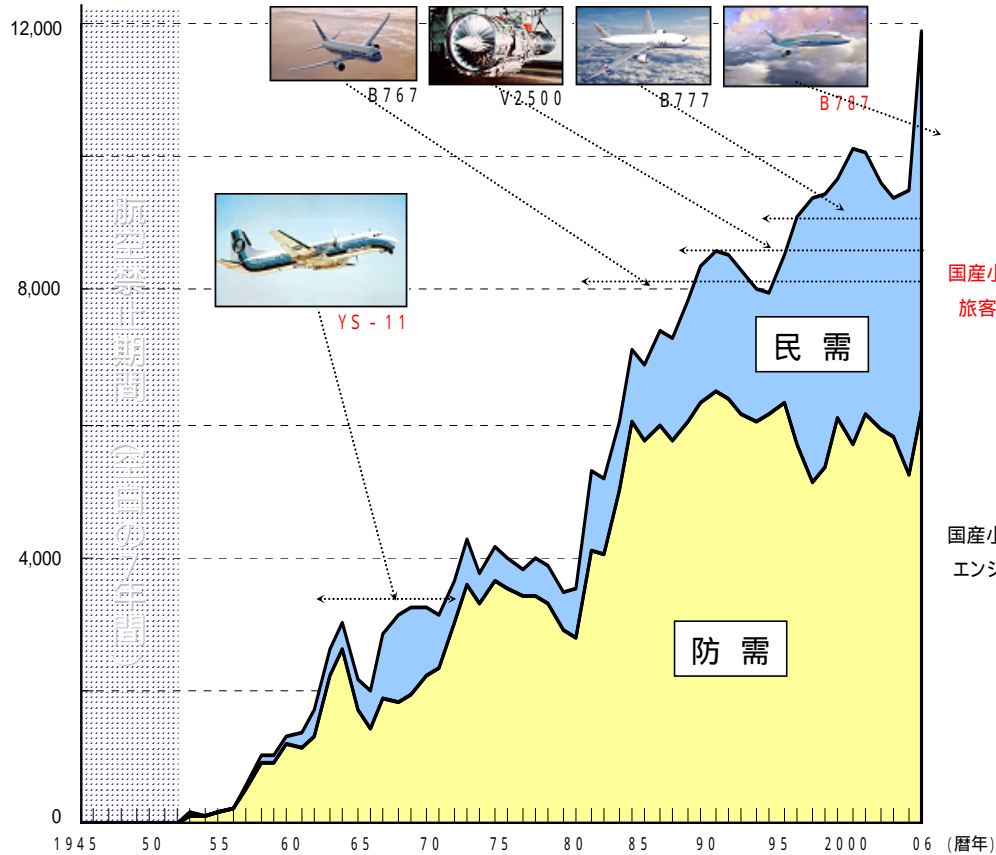
## ① 終戦直後

## ② 国産機開発

## ③ 国際共同開発

## ④ 完成旅客機全体開発

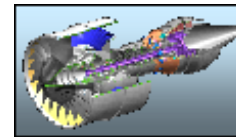
生産額(物価指数換算値)  
(単位:億円)



国産小型  
旅客機



国産小型  
エンジン



## 終戦直後

戦後、7年間の航空禁止期間。その後、米軍機修理等で徐々に再開。

## 国産機開発への挑戦

先行する外国旅客機を上回る優秀な国産旅客機  
**YS-11**の開発に成功。182機生産されたが、販売面で約360億円の赤字を計上し、事業終了。

## 国際共同開発への展開

80年代以降、**ボーイング767,777,787**及び**V2500**等の機体・エンジンの国際共同開発を推進。

### ボーイング社との国際共同開発におけるワークシェア等の推移

{B767}	{B777}	{B787}
<ワークシェア> 15%	<ワークシェア> 21%	<ワークシェア> 35%
<日本担当部位> 胴体、貨物庫、主脚庫	<日本担当部位> 胴体、中央翼、主脚庫、貨物庫等	<日本担当部位> 主翼、胴体、中央翼等

## 完成旅客機全体の開発

国際共同開発に加え、**完成旅客機全体の開発**を目指す。

# 戦略重点科学技術：環境適応型高性能小型航空機研究開発

## プロジェクトの概要

国内外で着実に成長が見込まれる市場を対象とした小型航空機(70 - 90席クラス)の開発に必要な要素技術の研究開発を実施。

材料技術・情報技術を駆使して環境適合性・操縦容易性等を実現。

平成19年度予算案 : 13.3億円  
 (平成18年度予算額 : 5.0億円)

## 実施体制(平成18年度)

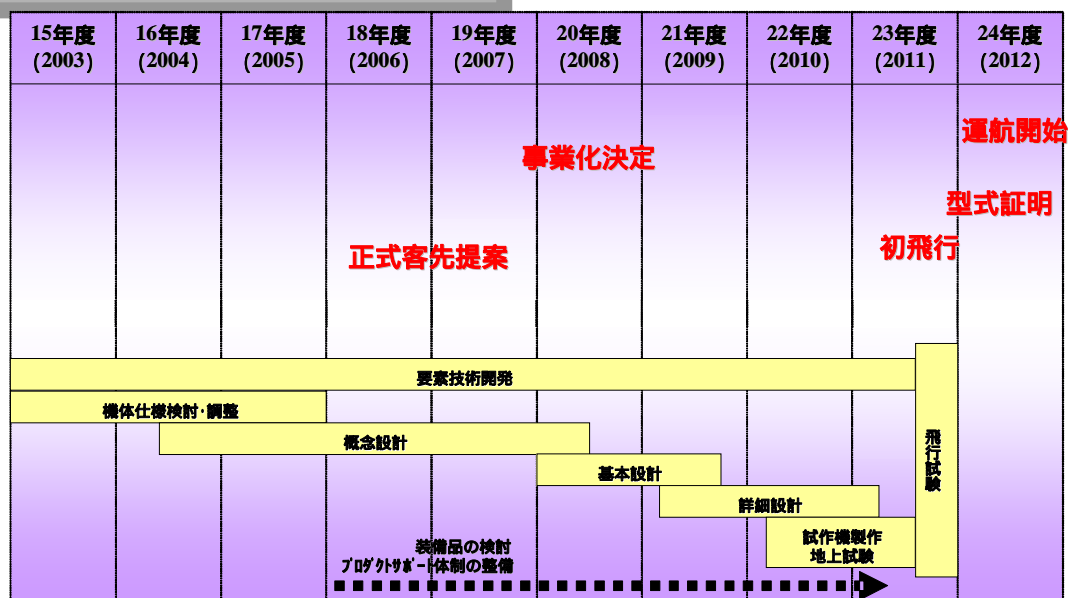
NEDO交付金(1/2補助)

- ・ 三菱重工業 (取りまとめ)
- ・ 富士重工業
- ・ (財)日本航空機開発協会

JAXA(宇宙航空研究開発機構)が共同研究で参照

< 民間航空機開発推進関係省庁協議会 >  
 本研究開発の円滑な実施を目的として、関係省庁(防衛省、文部科学省、国土交通省、経済産業省)局長級による協議会を設置。

## スケジュール



## ～ 環境負荷低減等に資する 技術の実証～

